

創立 70 周年を迎えるにあたって

一般社団法人日本繊維機械学会は、繊維産業に携わる方々の結集体として昭和 23 年に設立されて以降、

- 繊維関連技術発展と人材育成のための研究発表会、講演会、講習会等の企画実施
- 学会誌および論文集等の発刊をはじめとする繊維・繊維機械技術に関する学術の普及
- 国際会議開催等による国際社会への技術発信と交流活動

を活発に展開し、繊維及び繊維機械に関する学術の進歩、かつこれらに関連する工業技術の発展に努め、平成 29 年に創立 70 周年を迎えることとなりました。これはひとえに会員の皆様の絶大なるご支援とご協力の賜物であり、ここに深く感謝の意を表します。

学会創立以降、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きな発展を遂げた一方、繊維産業を取り巻く環境も変貌を遂げるなか、時代に即した技術者、研究者の育成支援も必要です。

70 周年という節目にあたり、このような繊維産業を取り巻く現状を鑑み、本学会では、繊維及び繊維機械に関する更なる学術の進歩、工業技術への更なる貢献を推進すべく、「**繊維産業の未来を語ろう**」をメインテーマとして、下記の記念事業を計画しております。

<p>(1) 創立 70 周年記念式典 【期日】 平成 29 年 9 月 13 日 (水) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 産・官・学からのご祝辞や基調講演ならびに繊維産業に携わる方々の交流を促進。</p>
<p>(2) 日本繊維機械学会ミュージアム 【期日】 平成 29 年 9 月 13 日 (水)、14 日 (木) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 繊維産業に関わる人材の育成を目的とし、繊維関連企業にご協力いただき、繊維産業の社会への貢献をテーマとした技術展示。</p>
<p>(3) 国際シンポジウム「第 45 回繊維工学研究討論会」 The 45th Textile Research Symposium 【期日】 平成 29 年 9 月 14 日 (木) ~ 16 日 (土) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 国内外の技術者・研究者の国際的な技術交流と連携の深化。</p>
<p>(4) 第 70 回記念年次大会 【期日】 平成 29 年 6 月 2 日 (金)、3 日 (土) 【会場】 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4) 【内容】 研究成果、製品発表ならびに懇親会を通じて、学術的・技術的交流を深め、繊維ならびに繊維機械に関する情報や意見交換を行う (第 69 回大会の参加者は延べ 650 名)。</p>
<p>(5) 繊維機械学会誌「月刊せんい」特集号の刊行 【内容】 平成 29 年度に記念特集号を刊行。</p>
<p>(6) 若手研究者・技術者育成基金の設立 【内容】 次世代の繊維産業を担う若手人材育成を目的として、10 年間にわたり研究助成金を交付するための基金を創設する。</p>

創立 70 周年記念行事に加え、若手研究者・技術者育成基金の設立には、通常の学会活動資金に加えて新たな財源を必要と致します。本活動へのご理解をいただき、広く皆様方よりご寄付のご支援・ご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

賜りましたご寄付は、学会の特別会計に繰り入れ、上記の実施に充てさせていただきます。募金総額は 1,600 万円を目標としております。正会員のみなさまには 1 口 5,000 円にてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人日本繊維機械学会長 喜成 年泰
 創立 70 周年記念事業実行委員長 鋤柄佐千子

日本繊維機械学会 第23回秋季セミナー

「ものづくりの潮流 ～価値創造の進路を求めて～」

日本繊維機械学会では、産学官の繊維に関わる方々を対象に、最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として、毎年11月に秋季セミナーを開催しております。第23回となる今回は来る11月10日(木)、11日(金)の両日、大阪市の大阪大学中之島センターで開催致します。

今回は、「ものづくりの潮流 ～価値創造の進路を求めて～」をメインテーマとしました。近年、ドイツのIndustry 4.0に代表されるように、IoT (Internet of Things) を活用した新しいものづくりの形が提唱されるなど、製造業を取り巻く状況は大きな変化の兆しを見せております。一方で、消費者が求める価値も、単に製品の機能的特性から得られる価値から、サービス等によって消費者個々の「こだわり」を満たすような心理的価値へと転換が進み、マスカスタマイゼーションへの要求も膨らんできています。

今回のセミナーでは、このような大きな潮流の中で、日本はどこを目指すべきなのか、日本のものづくりに希望の新大陸はあるのかについて、まずは特別講演において、産・官・学の専門の方々にご講演をいただきます。また、テーマ別講演では、繊維業界での最新の話題について、「価値」をキーワードとした講演をいただきます。

また、本セミナーの役割には、繊維技術交流をより積極的に進めることがあります。その役割に資するために、今回も、全国の公的試験機関の研究開発成果について、機器展示・ポスター展示を行います。

本セミナーが、今後のものづくりの将来を考え、議論する場になれば幸いです。皆様のご来場をお待ちしております。

期 日 平成28年11月10日(木)、11日(金)

会 場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島4-3-53)

京阪電車「中之島駅」下車徒歩約3分、<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

内 容

第1日目【11月10日(木)】

10階 佐治敬三メモリアルホール	
12.50～	開会の辞
12.55～	挨拶
13.00～14.00	特別講演(1) 過去から未来への未来予測とIoT・AIがもたらすインパクト 近畿経済産業局 地域経済情報政策課長 石原 康行 100年前から現在まで、人はどのように未来を予想し、それが実現できたのかについて、親しみのあるアニメや雑誌などを対象として考察します。更に、昨今話題のIoTや人工知能の状況及び最近のユニークな商品等について、事例と共にご紹介し、IoTの本質や感性価値及びそれらがもたらすモノ作りや経済社会へのインパクトについて、経済産業省の産業構造審議会の議論等を踏まえ考察します。
14.10～15.10	特別講演(2) 新たな日本のモノづくり変革 -素材による価値実現のために- 元東レ(株)代表取締役副社長・CTO 田中 千秋 今、世界は歴史的転換点に立つ。1つが環境・エネルギー新時代であり、もう1つが真のグローバル時代の始まりである。その中で、何故日本のモノづくり産業力を失っていったのか? 「技術に勝って事業に負ける日本」とよく言われるが、果してそうなのだろうか。日本のモノづくり競争力は欧米先進国に追いつけ・追いこせ時代のビジネスモデルから生まれた。そこから脱皮できないところが真の原因である。グローバル時代の競争力を高める価値創造型モデルへの転換を、具体例をもって示したい。
15.20～16.20	特別講演(3) 価値創出指向の新ものづくりへの動き 大阪大学・神戸大学 名誉教授 岩田 一明 近年、ものづくり分野では国際的な競争優位を目指して、価値に主眼を置いた広義のものづくり(新ものづくりと呼ぶ)に関心が集まっている。本講では、まず、最近における価値観の視座、次いで、「ものづくり」と価値創出との相関ならびに「新ものづくりのデザインとその背景にあること」を概観し、最後に今後への期待に関して私見を述べてみたい。
16.20～16.30	休憩
16.30～17.20	繊維関連公設試によるショートプレゼンテーション (10階 佐治敬三メモリアルホール)
17.30～18.10	繊維関連公設試によるポスターセッション (7階 会議室702)
9階 交流サロン「サロン・ド・ラミカル」	
18.10～19.30	交流会

第2日目【11月11日(金)】

	7階 会議室702	7階 会議室703
	価値を纏う、ウェアラブルな未来	新素材のすすむ路
9:50 10:40	機能繊維×ロボティクスで新価値を生み出す 龍谷大学 理工学部 機械システム工学科 助教 HO Anh - Van IoTブームの中、繊維による高性能のあるウェアラブルデバイスを人間が便利に使えるように開発する進展がある一方、人と協調できるロボットを向ける布地ベースのロボティクススキンの開発も進める。そして、ロボットの全腕・全身に装着できる多性能のある柔軟な布地ロボティクススキンを造れる技術はウェアラブルデバイスの設計動向につながるだろうと考えられる。本発表に、開発した分布的な圧力や近接やすべりを測定・検出できる布センサを紹介し、また、ロボティクスにおける柔軟な形態学の制御に基づいた繊維の新たな機能を生み出せる概念も解説します。	セルロースナノファイバー -裏山から来る産業資材- 京都大学 生存圏研究所 教授 矢野 浩之 セルロースナノファイバー(CNF)は、木材をナノオーダーにまで微細化することで得られる産業資材である。軽量、高強度などの優れた特徴があり、次世代の高機能繊維材料として注目されている。本講演では、セルロースナノファイバーの構造、製造、機能化、応用と共に京都大学が進めている自動車部材等構造用途への利用について紹介します。

<p>10:45 } 11:35</p>	<p>e-ヘルメットによる生体情報監視システム スターライト工業(株) 新歩推進ユニット 新商品試作グループ 第2チームリーダー 東島 将俊</p> <p>当社は、樹脂を活用したトライボロジー技術をコアとし、各産業分野に向けて、高機能性樹脂製品を開発してきました。一例として、1952年には国産第1号となる合成樹脂製ヘルメットを世に送り出しました。近年では、ケミトロニクス応用商品の開発も積極的に進めており、本講演では、ヘルメットを媒体として、人の姿勢・動作と作業環境を把握できる監視システムを紹介いたします。</p>	<p>ヤモリ足裏を模倣した接着機構 大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 准教授 平原 佳織 四国職業能力開発大学校 校長、大阪大学・名誉教授 中山 喜萬</p> <p>ヤモリの足裏は驚異的な剪断接着力を示すことはよく知られているが、近年カーボンナノチューブ(CNT)を用いてこの接着機構を模した接着テープを大学と企業の共同研究により実現した。接着面を汚すことなく耐熱性に優れるなどの利点があり、既に市販化に至っている。講演ではこのCNT人工ヤモリテープの構造や接着機構について紹介いたします。</p>
<p>11:40 } 12:30</p>	<p>動作補助機能を備えた衣服(ロボティックウェア)の創製を目指して 信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 教授 橋本 稔</p> <p>超高齢化社会の進行の中で、ウェアラブルなロボットによって動作を補助して高齢者を支援する技術の開発が盛んに行われている。しかし、ロボットの形状、重量、素材の問題があり、一般に受け入れられるロボットは実現されていない。普段着用している衣服自身が力を発生して人の動きを補助することができれば、高齢者介護、労働力不足などの社会問題を解決するキーテクノロジーになるものと考えられる。本講演では、このロボティックウェアの研究の現状と課題について、ロボティックウェア curara[®]の開発とソフトロボティックデバイス PVCGEL(高分子アクチュエータ)の研究を中心に述べます。</p>	<p>先端繊維とスポーツウェア (株) ゴールドウインテクニカルセンター 開発部 部長 中村 研二</p> <p>進化するスポーツウェアを支える様々な最先端の高機能繊維。ナノファイバーや高強度繊維を使ったラグビー全日本代表ユニホーム、繊維導電化技術をナノファイバーに適用させたhitoeを採用した、心拍測定ウェア等の商品開発を紹介いたします。更には、人工クモ糸でつくるスポーツウェアの可能性について考える。</p>
<p>12:30 } 13:30</p>	<p>休憩(昼食)</p>	
<p align="center">日本繊維機械学会「技術賞」受賞講演(7階 会議室703)</p>		
<p>13:30 } 13:55</p>	<p>(1) 高性能CFRPソールの成形技術 - 陸上スパイクへの適用 - (株) アシックス スポーツ工学研究所 次世技術開発チーム マネージャー 谷口 憲彦</p> <p>近年、炭素繊維強化プラスチックに代表される複合材料の優れた機械的性質を様々な民生品へ適用する検討が数多くされている。本講演では、軽量化、高性能化を目的に複合材料を陸上シューズ開発に適用した事例を紹介いたします。加えて、本開発を遂行する過程において構築された計測技術、および、成形技術に関しても具体的な事例を交えつつ紹介いたします。</p>	
<p>13:55 } 14:20</p>	<p>(2) 競泳水着における機能性設計開発 ミズノ(株) グローバルパレルプロダクト本部 開発・ソーシング部 材料開発課 技師 田中 啓之</p> <p>水着は競技パフォーマンスに影響を及ぼす重要なアイテムである。ミズノは1/100秒でも記録を縮めたい選手をサポートする為に、様々な研究・開発を行っています。今回はトップ選手向け競泳水着「GX・SONIC II」で採用した低抵抗素材の開発及び独自の筋骨格シミュレーション手法を用いた機能性設計について発表いたします。</p>	
<p>14:20 } 14:30</p>	<p>休憩</p>	
<p align="center">あらたなデザイン ~ 日本発付加価値技術を求めて ~ FRP技術の新たな兆し</p>		
<p>14:30 } 15:20</p>	<p>新たなデザイン、開発時の必須項目である「付加価値」への検証と提言 OFFICE KURUMA テキスタイルコーディネーター 車 純子</p> <p>日本人の開発能力や技術力は、世界でも高く評価されているのに、世界的ヒットが生まれにくいのはなぜか。新しいものを開発して商品化、その後市場での商品競争に陥ってからのデザイン合戦。しかし今の消費者世代は、自分にとって付加価値のないものは購入しない。デザインとは、付加価値ではなく、開発に基づく必須項目である事例から検証。</p>	<p>CFRP業界に必須の設計スキルと業界参入戦略 FRP consultant 代表 吉田州一郎</p> <p>高い性能を有することから自動車などへの適用に期待の高まるCFRP。ところが期待とは裏腹に適用が進んでいない。本原因として材料価格や作りにくさが論じられる一方、「CFRP材料を使いこなす設計スキルの不足」という根本原因が語られることは少ない。本講演ではCFRP業界動向紹介、従来材料で機能した分業体制の通用しないCFRP適用拡大に必須の設計スキル、ならびに業界参入を目指す企業の戦略について概論を述べます。</p>
<p>15:25 } 16:15</p>	<p>あらたなデザインを生み出す流行の周期と日本語の感性 (株) 感性リサーチ 研究員 手塚 祐基</p> <p>同じ一人の人の中でも、ローウエストが好きな時代とジャストウエストが好きな時代があるように、感性は時代によって変化してゆきます。この感性の変化が流行周期をつくり、新しいものを生み出す原動力となります。また、日本語がつくる感性は、流行周期と新しいデザインにどう関係するのかを事例を見ながらお伝えします。</p>	<p>熱可塑性CFRPに未来はあるか? 欧州の最新技術動向と用途拡大への解決策 近畿大学 理工学部 機械工学科 教授 西藪 和明</p> <p>大阪生まれの炭素繊維は軽量化の切り札として注目度は高く、とりわけ熱可塑性CFRPは生産性・耐衝撃性・再利用性に優れ、様々な製造法が適用できるため様々な業界からの参入が多い。しかし、その量産化への道は意外に険しい。欧州での最新技術動向を紹介し、熱可塑性CFRPの用途拡大への解決策とその将来像を語ります。</p>
<p>16:20 } 17:10</p>	<p>日本発 国際標準化された抗微生物試験・消臭試験規格の紹介(一財) ボーケン品質評価機構 上海試験センター 係長 川畑 孝司</p> <p>近年、日本が誇る繊維加工技術の一つとして抗菌加工が挙げられます。「抗菌」は繊維をはじめ、プラスチック・金属などの製品にも付与され、世界的に見てもその需要はますます拡大するものと考えられます。</p> <p>一方、その信頼の裏付けとしては、日本からISO規格へ抗菌加工の評価方法を積極的に提案、その多くが採用されるという確固たる実績があるためです。本講演では、日本発の提案で採用された、繊維製品の抗菌・抗カビ・抗ウイルス等のISO規格を紹介いたします。</p>	<p>炭素繊維強化樹脂複合材料(CFRP)の用途展開の現状と将来動向 東レ(株) ACM技術部 チーフアドバイザー 京野 哲幸</p> <p>我が国で炭素繊維が工業化されて、45年が経過した。炭素繊維は主として炭素繊維強化樹脂複合材料(CFRP: Carbon Fiber Reinforced Plastics)の形態で用いられ、1970年代前半のスポーツ用具への適用から始まり、次いで、民間航空機構造部材への適用、近年では压力容器、風車、自動車などの一般産業用途への需要が大きく伸びている。本講演ではCFRP用途展開の現状と将来動向を紹介いたします。</p>
<p>17:10</p>	<p align="center">閉会の辞</p>	

協賛 石川県繊維協会、大阪染色協会、カケンテストセンター、関西ファッション連合、機能紙研究会、繊維製品技術研究会、繊維評価技術協議会、富山県繊維協会、日本麻紡績協会、日本衣料管理協会、日本インテリアファブリックス協会、日本化学繊維協会、日本家政学会、日本感性工学会、日本毛織物等工業組合連合会、日本材料学会、日本産業皮膚衛生協会、日本繊維機械協会、日本繊維技術士センター、日本繊維製品品質技術センター、日本繊維輸入組合、日本ニット工業組合連合会、日本縫製機械工業会、日本羊毛産業協会、プラスチック成形加工学会、ボーケン品質評価機構

参加費 会員 22,000 円、協賛学協会 22,000 円、非会員 30,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円、特定会員（65 歳以上の正会員）8,000 円（税別）

申込 「第 23 回秋季セミナー」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別、⑤交流会参加（参加無料）の有無を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP の秋季セミナー頁より参加申込（WEB 申込）ができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

第 23 回秋季セミナー 「繊維技術交流研究試作品・指導作品・研究成果及びポスター募集」

第 23 回秋季セミナーでは、ものづくりの潮流～価値創造の進路を求めて～をテーマに開催いたしますが、繊維技術交流として全国の繊維関連公設試験研究機関や産地の企業の新技術開拓、新製品開発及び技術改善等の研究成果・試作品及びポスターを募集いたします。公設試験研究機関、産地の中小企業およびコラボレーションによる作品をお待ちしております。

期日 平成 28 年 11 月 10 日(木)

会場 大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）

内容

- (1) ショートプレゼンテーション
- (2) 作品およびポスターの前にて参加者と交流

ショートプレゼンテーション

1 件 約 4 分のプレゼンを行います。

作品およびポスター発表（交流）

ポスターの前にて参加者と交流

定数 16 件（定数になり次第締め切らせて頂きます）

その他 詳細は学会 HP をご参照下さい。

見学会「村田機械（株）ならびに津田駒工業（株）」

昨年開催されたITMA2015 ミラノにおいて、最先端の技術力をアピールした日本の繊維機械メーカー2社を見学できます。部品加工から組立製造ライン、完成した製品までの一連の製造工程を見学します。また、製品についての説明も行います。多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 28 年 11 月 18 日(金) 午後

会 場 村田機械株式会社 加賀工場（石川県加賀市南郷町ソ-1-1）
津田駒工業株式会社 本社・工場（石川県金沢市野町 5-18-18）

内 容

- 12.30 集合「加賀温泉駅」、バスにて移動
- 13.00～14.30 見学会（1）村田機械(株)加賀工場
村田機械(株)繊維機械事業部が販売する世界シェア No.1 の自動ワインダーおよび世界 Only One の革新精紡機 VORTEX の生産現場を見学します。
最先端の技術を活用し自動化に取り組んだ工場ライン、日本だからこそ維持出来る品質管理、常に改善を目指す姿勢や1秒へのこだわりなどを紹介します。
- 14.30～15.30 移動（バス移動）
- 15.30～17.00 見学（2）津田駒工業(株)本社・工場
最新鋭のエアジェットルーム ZAX9200i, ウォータージェットルーム ZW8100 をショールームで見学し、これらの加工、組立の製造工程を見学します。
先のITMA2015において、「2105rpm」というエアジェットルーム史上最高回転数を記録した最新技術などを紹介します。
- 17.00～17.20 金沢駅へ移動、到着後解散

協 賛 大阪染色協会

定 員 45 名（定員になり次第締め切らせて頂きます。なお、都合によりご遠慮頂く場合がありますので、あらかじめご了承下さい。）

参加費 会員 4,000 円、非会員 8,000 円、学生会員 1,000 円、学生非会員 2,000 円（税別）

その他 詳細につきましては、参加者へご連絡致します。

当日はバスで移動を行います。自家用車でのご参加を受け付けておりません。

申 込 「見学会 村田機械(株)・津田駒工業(株)」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込用紙のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ予定表

テキスタイルカレッジは、海外諸国に比較して弱体化しつつあり、体系的教育がほとんど行われていなかった我が国の繊維教育に対し、本学会が持つ繊維に関する知識情報の動員機能を活用して、人材育成と技術継承を主目的とした歴史ある教育コースです。

ベテランの方々には知識の整理に、中堅の方々には情報の収集に、若手の方々には基礎知識の吸収に、テキスタイルカレッジへのご参加をお勧め申し上げます。

平成 28 年	
開催済 「2日で学ぶ布づくり」(2日間)	10月 28 日(金) 「感覚と計測」
開催済 「糸づくり講座」	11月 25 日(金) 「実習：KES による布特性の測定講座」
開催済 「染色加工基礎講座」(2日間)	12月 6 日(火) 「合織の基礎と最新の技術」(1日目)
開催済 「織り組み編み基礎講座」	12月 7 日(水) 「合織の基礎と最新の技術」(2日目)
開催済 「染色加工応用講座」	平成 29 年
10月 20 日(木) 「不織布実用講座」(1日目)	3月 3 日(金) 「繊維製品の品質管理と品質保証」
10月 21 日(金) 「不織布実用講座」(2日目)	

講演会「繊維産業と世界展開」

大きく世界情勢が変動する中、グローバルにビジネスを展開するには、各種経済協定【自由貿易協定（FTA）や経済連携協定（EPA）等】や知的財産を有効に活用し、世界で勝ち残るための企業体制を強化する必要があるかと思えます。

今回は、繊維産業が世界で勝ち残るためのポイントを関税ルールや知財の国際戦略等からご教授いただく講演会としております。また、昨今、ベトナムへの企業進出が注目されており、ベトナムでの企業進出の実情もお話しいただく予定です。

本講演会は、産学官から講師をお招きしており、繊維産業の世界展開に必要な情報を集めることのできる貴重な講演になるかと存じます。多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 28 年 12 月 2 日(金) 13.00~17.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

内 容 予定

(1) FTA 活用の基本と事例 (13.00~14.00)

・日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部 ビジネス情報提供課 新輸出大国コンシェルジュ 堤 章

(2) 海外ビジネスで知っておきたい知的財産あれこれ (14.10~15.10)

..... (独法) 工業所有権情報・研修館 海外知的財産プロデューサー 久永 道夫

(3) グローバル市場で成功するためのトレンド攻略 (15.20~16.20)

..... 豊橋技術科学大学 総合教育院 教授 坂本 和子

(4) ASEAN におけるベトナムの位置づけとその将来 (16.30~17.30)

..... プロミメント・ベトナム前社長、伊藤忠商事(株) 繊維カンパニー

ファッションアパレル第二部門 リテールクロージング課長 森田 洋

定 員 40 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員 8,000 円，非会員 18,000 円，学生会員 1,000 円，学生非会員 2,000 円（税別）

申 込 「講演会繊維産業と世界展開」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長 中西 康雅（三重大学）

副委員長 井出 潤也（クラレ）

企画委員 青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学）

奥野 智朗（住江織物）

佐藤 克成（奈良女子大学）

筒井久美子（村田機械）

馬場武一郎（日本毛織）

東山 幸央（兵庫県立工業技術センター）

山田 博夫（ユニチカトレーディング）

アドバイザー 宇治 光洋（ダイセン（繊維ニュース））

中村 信（ダイキン工業）

田上 秀一（福井大学）

伊藤 智樹（ボーケン品質評価機構）

奥林 里子（京都工芸繊維大学）

滋野 治雄（帝人）

高橋 利幸（東レ）

原 茂（豊田自動織機）

廣澤 覚（京都市産業技術研究所）

若松 栄史（大阪大学）

越智 清一（繊維評価技術協議会）

松下 義弘（京都工芸繊維大学）

松崎 健（ミズノ）

稲富伸一郎（東洋紡）

佐久間 淳（京都工芸繊維大学）

杉山 研志（TMT マシナリー）

仲井 朝美（岐阜大学）

伴場 秀樹（津田駒工業）

森島 英暢（倉敷紡績）

武内 俊次（福原産業貿易）

六田 克俊（森田工業）

2017 学術ミキサー

新年を迎えるにあたり、「2017 学術ミキサー」を大阪にて開催いたします。繊維関連の3学会共催による開催も3年目となりました。2016年度は3学会と一緒に「スマートテキスタイル研究会」を運営することになった年度でもございます。

「2017 学術ミキサー」では、各学会会長もしくは副会長からの挨拶、「スマートテキスタイル研究会」の委員長堀照夫氏からの研究会の紹介とともに、株式会社感性リサーチ 代表取締役社長 黒川 伊保子氏より『感性マーケティング～脳が創り出す時代の風』と題して基調講演をいただきます。黒川氏は富士通ソーシャルサイエンスラボラトリで人工知能の研究に従事したのち、株式会社感性リサーチを設立。世界初の語感分析法を開発し、多くの商品名やマーケティング戦略を手掛けておられます。脳科学と独自のマーケティングをもとに人間の思考や行動についても多数の著書がございます。（『怪獣の名はなぜガグゲゴなのか』（新潮社）、『鈍感な男 理不尽な女』（幻冬舎）、『英雄の書』（ポプラ社）、『脳科学的に正しい恋愛脳の作り方（KADOKAWA）、『「ぐずぐず脳」をきっぱり治す！ 人生を変える7日間プログラム』（集英社）、他。）男性女性に限らず、どの世代の方にも前向きな勇気を与えてくださること必至です。

この機会に、平素よりご支援、ご指導を頂いております大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただきながら、繊維関連の学術、産業、マーケティングについて今後を展望したいと存じます。各学会の維持会員・賛助会員はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 1 月 25 日(水)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

内 容 予定

- (1) 3学会の会長もしくは副会長から挨拶（14.00～14.15）
- (2) 「スマートテキスタイル研究会」の紹介及びスマートテキスタイル関連の研究紹介（14.15～14.55）
 …………… スマートテキスタイル研究会委員長、福井大学 産学官連携本部 客員教授 堀 照夫
- (3) 基調講演「感性マーケティング～脳が創り出す時代の風」（15.00～16.30）
 …………… 株式会社感性リサーチ 代表取締役、人工知能研究者、脳科学コメンテーター 黒川伊保子
- (4) 交流会（軽食）（16.30～18.00）

共 催 一般社団法人繊維学会、一般社団法人日本繊維機械学会、一般社団法人日本繊維製品消費科学会

参加費 3,000 円（税別）

定 員 70 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

申 込 「2017 学術ミキサー」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、④交流会参加の有無を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

講演会「ITMA ASIA + CITME2016(上海)視察報告」

中国最大の繊維機械展とされる「中国国際繊維機械展示会」(CITME)と「国際繊維機械見本市アジア展示会」(ITMA ASIA)が平成28年10月21日～25日の日程で上海にて開催されます。

アジア地区の最新動向を知ることは、これからのアジア地区の戦略を練る意味でも重要です。本講演会ではITMA ASIA & CITME2016(上海)に参加される方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会と存じます。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 平成29年1月27日(金) 9.55～17.25

会 場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

開会の挨拶(9.55～10.00)……………日本繊維機械学会 会長, 繊維機械研究会 委員長 喜成 年泰

(1) 全般(10.00～10.40)……………金沢大学 教授 喜成 年泰

(2) 合繊機械(10.40～11.20)

紡糸巻取関係……………TMTマシナリー(株)

加工機関係……………TMTマシナリー(株)

(3) 紡績機械(11.30～12.10)……………(株)豊田自動織機

(4) 革新精紡機(12.10～12.30)……………村田機械(株)

(5) 自動ワインダー(12.30～12.50)……………村田機械(株)

(6) 織機(13.50～14.30)……………津田駒工業(株)

(7) 編機(14.30～15.10)……………日本マイヤー(株)

(8) 染色加工機械(15.20～16.00)……………(株)日阪製作所

(9) インクジェット捺染機(16.00～16.40)……………コニカミノルタ(株)

(10) ディスカッション(16.40～17.20)……………講演を頂きました講師

閉会の挨拶(17.20～17.25)

(11) 交流会(17.30～19.00)

共 催 繊維機械研究会

協 賛 大阪染色協会, 日本繊維機械協会

定 員 80名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会会員15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途5,000円程度

申 込 「講演会ITMA ASIA2016 視察報告」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

ジャーナル編集委員会

委員長 木村 裕和(信州大学)

副委員長 保田 和則(愛媛大学)

山本 貴則(大阪府立産業技術総合研究所)

編集委員 上田 博之(大阪信愛女学院短期大学)

近藤 幹也(東京都立産業技術研究センター)

解野 誠司(和歌山県工業技術センター)

堀場 洋輔(信州大学)

山下 義裕(大阪成蹊短期大学)

與倉 弘子(滋賀大学)

金井 博幸(信州大学)

小柴 孝(奈良工業高等専門学校)

則末 智久(京都工芸繊維大学)

松岡 敏生(三重県工業研究所)

山本 剛宏(大阪電気通信大学)

講演会「技術立国日本の先駆者（第3回）」

日本繊維機械学会は昭和23年に設立され、本年で69年目を迎えます。設立当初は戦後の復興期に当たり、繊維産業は基幹産業として我が国の経済再興の牽引役を果たし、戦後経済発展の一翼を担ってきました。それから約70年経過し、紆余曲折を経て産業としての舞台は東南アジア諸国に移りつつありますが、その基礎となる関連技術は我が国において、益々発展の一途にあると言っても過言ではありません。

本学会では、平成20年に「フェロー制度」を設け、以後、毎年学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた方にフェローの称号を授与しています。この技術立国日本の礎をつくった先駆者の方々に講師に招き、成功と失敗談、光と陰の部分をお腹なく語って頂く講演会を企画しました。ベテランはもちろん、若手の方々にも是非ご参加をお勧めします。

期 日 平成29年2月24日(金) 14.00~17.00

会 場 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町1-8-4)

内 容 予定

(1) “細くて長い形” に魅せられて (14.00~15.00)

..... 日本繊維機械学会フェロー、元京都工芸繊維大学 前川善一郎

講演概要

大学卒業後、民間会社で行った化学装置の設計製作で、“細くて長い形”をした繊維材料とプラスチック材料が一体になった繊維強化プラスチック材料と出会い、その魅力に取り付かれ、当時、本材料の最先端研究をしていた大阪市立大学機械工学科藤井研究室の修士学生になり、その後の長い人生には、“細くて長い形”がいつも傍に存在していました。

- 1) 大阪市立大学時代では、主として繊維強化プラスチック材料の信頼性研究に従事し、学位を取得しました。
- 2) 京都工芸繊維大学繊維学部時代では、京都の伝統技術であった組物構造をした繊維強化複合材料の研究開発に従事しました。
- 3) 京都工芸繊維大学先端ファイブ科学専攻時代では、織物の伝統技術の発掘に従事し、本学会に“染織品と染織文化財研究会”を立ち上げました。
- 4) 京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター時代では、“細くて長い形”をした毛筆字体の感性に関する研究に従事しています。
- 5) 恩返しのため、“細くて長い形”をした繊維材料のすばらしさを小中学生に伝えるフェロー会の行事に積極的に参加しています。

略歴

1963年 大阪大学工学部精密工学科卒業、4年間の民間会社(栗本鉄工所)勤務を経て、1970年 大阪市立大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了、工学博士(大阪市立大学、1981年)、1971年より大阪市立大学工学部機械工学科助手、公立大学在外研究員(米国コロンビア大学、1973年)、1983年より京都工芸繊維大学繊維学部高分子学科助教授・教授、1998年に京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科先端ファイブ科学専攻設置に伴い移転、2003年より平安女学院大学生活環境学部特任教授、2013年より京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授、日本繊維機械学会会長、プラスチック成形加工学会副会長、先端材料技術協会副会長強化プラスチック協会賞(論文賞)(1978年、1990年)、日本繊維機械学会技術賞(1988年)、プラスチック成形加工学会論文賞(1993年)

(2) メリヤスとの出会い (15.15~16.15)

..... 日本繊維機械学会フェロー、一般財団法人日本繊維製品品質技術センター 岡野 志郎

講演概要

- 1) メリヤスとは何か?
- 2) メリヤスとの出会い
- 3) メリヤスとの人生

略歴

京都工芸繊維大学工芸学部色染工芸学科卒業、1956年(財)日本メリヤス検査協会【現(一財)日本繊維製品品質技術センター】入社、1983年理事、1990年常務理事、1993年日本繊維製品品質技術センター常務理事、1997年参与、1999年アドバイザー、同年京都ノートルダム女子大学非常勤講師

(3) ディスカッション (16.15~17.00)

定員 30名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員2,000円、非会員5,000円（税別）、学生無料

申込 「講演会技術立国日本の先駆者」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

スマートテキスタイル研究会（第5回）

期日 平成28年11月21日(月) 14.00~17.15

会場 マイクロマシンセンター（MMC）新テクノサロン（東京都千代田区神田佐久間河岸67MBR99ビル7階）

内容 「生体親和性技術」

- (1) 誘電性汎用高分子の電場に対する自律応答性 (14.00~14.45)
..... 信州大学 平井 利博
- (2) 人体通信技術の開発とヘルスケアデバイス応用に向けた課題 (14.45~15.45)
..... 東京大学 佐々木 健
- (3) 高強度・高膨潤ハイドロゲル人工軟骨の開発と課題 (15.45~16.30)
..... 横浜国立大学 鈴木 淳史
- (4) 電気化学センサーのヘルスケア研究への応用 (16.30~17.15)
..... 榎堀場製作所 上田 康史
- (5) 交流会 (17.30~18.30)

主催 エレクトロニクス実装学会ヘルスケアデバイス実装技術研究会第5回公開研究会

共催 スマートテキスタイル研究会（繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会）

定員 50名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員5,000円、非会員10,000円、学生会員無料、学生非会員2,000円（税別）

スマートテキスタイル研究会会員は無料（法人会員は複数名参加可能）

交流会参加費別途3,000円

申込 「スマートテキスタイル研究会（第5回）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別、⑤交流会参加の有無を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛てお申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テクテキスタイル研究会（第42回）研究例会 「高機能繊維の研究開発動向」

期日 平成28年11月22日(火) 14.00~17.00

会場 福井県工業技術センター管理棟2階講堂（福井市川合鷺塚町61-10）

内容

- (1) 東洋紡の高機能繊維について（14.00~15.00）
..... 東洋紡(株) 機能材開発研究所 奥山 幸成
- (2) 「エンブラ繊維 ゼクシオン」について（15.00~16.00）
..... K B セーレン(株) 営業開発室 安田 直之
- (3) 複合溶融紡糸法を利用した機能性繊維材料開発（16.00~17.00）
..... 東京工業大学 物質理工学院 教授 鞠谷 雄士

共催 福井県繊維技術協会，日本繊維機械学会テクテキスタイル研究会，福井県工業技術センター

参加費 会員 5,000 円，非会員 13,000 円，学生会員無料，学生非会員 2,000 円（税別）

テクテキスタイル研究会メンバー無料（法人会員は複数名参加可能）

申込 「テクテキスタイル研究会（第42回）研究例会」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上 FAX または E-mail にて下記宛てお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（大正紡績(株) 繊維事業本部長 兼 東京営業所長）	八代 芳明（東海染工(株) 代表取締役社長）
	山下 雅生（(株)エイガールズ 代表取締役社長）	
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン(株) 繊維ニュース 編集グループ記者）
	白谷旗世彦（天津毛織(株) 代表取締役）	貝原 良治（カイハラ(株) 代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維(株) 代表取締役社長）	桑名 紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）
	高澤 史納（高澤織物(株) テキスタイルデザイナー）	高杉 哲朗（(株)ショーワ 代表取締役社長）
	辰巳 雅美（辰巳織布(株) 代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル(株) 代表取締役社長）
	山本 敏明（西染工(株) 代表取締役）	米倉 勝久（(株)タカラ 代表取締役会長）
	渡邊 利雄（渡辺パイル織物(株) 代表取締役社長）	

テキスタイルカレッジ

不織布実用講座

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに構造と性質および用途などについて，最新の情報も含めて系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 28 年 10 月 20 日(木)，21 日(金)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩 5 分）

内 容 1 日目【10 月 20 日(木)】

(1) 不織布概論 (10.00~12.00)

..... 日本不織布協会顧問，不織布研究会委員長，日本繊維機械学会フェロー 矢井田 修

(2) 短繊維不織布技術—乾式不織布 (13.00~14.10)

..... 倉敷繊維加工(株) 企画開発部 部長 近石 尚樹

(3) 短繊維不織布技術—湿式不織布 (14.20~15.30)

..... 特種東海製紙(株) 研究開発センター 市場開発部 部長代理 服部 景

(4) 不織布の物性測定について (15.40~16.40)

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

2 日目【10 月 21 日(金)】

(5) 長繊維不織布技術—メルトブロー (10.00~11.10)

..... 高知県立紙産業技術センター 加工技術課 チーフ 鈴木 慎司

(6) ナノファイバー不織布の作製と実用 (11.20~12.30)

..... ナノファイバー研究会委員長，東京大学 生産技術研究所 研究員
大阪成蹊短期大学 准教授 山下 義裕

(7) 長繊維不織布技術—スパンボンド (13.20~14.30)

..... 東洋紡(株) 生活・産業マテリアル統括部 スパンボンド事業部長 田中 茂樹

(8) 不織布の用途について (14.40~15.50)

..... クラレクラフレックス(株) 開発加工グループ グループリーダー 新井田康朗

(9) 修了証贈呈式 (15.50~16.00)

協 賛 大阪染色協会

定 員 40 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員 25,000 円，非会員 33,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ不織布実用講座」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

情報化委員会

委員 長 保田 和則（愛媛大学）

委 員 武内 俊次（福原産業貿易）

山下 義裕（大阪成蹊短期大学）

横山 敦士（京都工芸繊維大学）

テキスタイルカレッジ「感覚と計測（第9回）」

テキスタイルカレッジを下記のように開催いたします。今回は、製品の「心地」を数値化するために行います官能評価法およびその応用事例、「心地」評価時の生理的機能量の計測方法およびその応用事例について、それぞれ専門の研究者によりわかりやすく解説されます。多数の方々の参加をお待ちしております。

期 日 平成 28 年 10 月 28 日(金) 13.00~16.10

会 場 信州大学 繊維学部 21 番講義室（上田市常田 3-15-1, 北陸新幹線「上田駅」下車、徒歩約 15 分）

内 容

- (1) 生理・心理反応に基づく感性評価・設計の試み (13.00~14.15)
..... 信州大学 繊維学部 金井 博幸
- (2) 製品の「心地」を数値化する官能評価法について (14.25~15.40)
..... 信州大学 繊維学部 西松 豊典
- (3) 西松・金井研究室見学（希望者のみ）(15.40~16.10)

共 催 日本繊維機械学会信越支部, 繊維学会感覚と計測研究委員会, 感性工学会感覚工学部会

協 賛 大阪染色協会

参加費 会員 8,000 円, 共催協賛学協会員 8,000 円, 非会員 16,000 円, 学生会員 1,000 円, 学生非会員 2,000 円 (税別, テキスト代を含む)。

申 込 「テキスタイルカレッジ感覚と計測」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail), ④研究室見学参加の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

**テキストの
紹介**

「KES 特性値(パラメータ)を用いる テキスタイルの風合い・外観・快適性客観評価式」

(一般社団法人日本繊維機械学会 テキスタイル科学研究会)
A 4 判 65 頁, 客観評価式の計算ソフト付き, 定価 1,500 円 (税送料別)

本小冊子, は川端・丹羽らによって開発された布の風合い客観評価式の全てを網羅したものである。KES システムで得られる基本力学特性値 (パラメータ) を用いて, 布の風合い客観評価式が用途別に誘導されており (1980), 実際にこれら式の計算に必要なデータ (特性値の標準偏帰係数, 平均値, 標準偏差, 等), 及び KES システムの計測条件を一覧できる。

風合い客観評価式が開発されてからすでに 35 年間を経過しており, この間, 彼らの弟子達により, 各種テキスタイル製品での応用が試みられている。具体的には, ふとん地, 不織布, 紙おむつ用トップシート, トイレットペーパー, 毛布, 婦人服地, タオル地, 仕立て映え, フレアスカート動き, パジャマの快適性, 等の客観評価式が誘導されている。これらについても各種データ及び KES 計測条件がまとめられている。

本冊子の内容は決してテキスタイル製品のものに限られるものではなく, 人間が接する全ての材料, プラスチック, 建材, 皮革, ゴム, 金属, 等の多くの分野で応用可能である。

【問い合わせ先】 日本繊維機械学会
〒 550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

実習：KES (Kawabata Evaluation System) による布特性の測定講座

布の風合いの客観的評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-F (auto system ではありません) によって布の力学的特性 (引張, せん断, 曲げ, 圧縮特性) と表面特性を、KES Thermo-labo II によって熱・水分移動特性 (最大熱流束 q_{max} , 熱コンダクタンス, 熱損失) を測定していただきます。

布の物理特性について学びたい、KES-F を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布, 皮革類, 紙, フィルム, その他硬い材料など) に応用したい, さまざまな条件設定について知りたいなど, これまでの事例を踏まえ, 触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感覚の客観評価に興味をお持ちの方等を対象に, 布の触感の客観評価の基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 28 年 11 月 25 日 (金)

会 場 神戸大学発達科学部 (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後, 各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大発達科学部前 下車。

講 義 第 1 班 : 11.00~13.00, 第 2 班 : 14.00~15.00

(1) KES-F による布の力学特性, 表面特性, および熱・水分移動特性の測定

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理

実 習 第 1 班 : 11.00~13.00, 第 2 班 : 15.00~17.00

(2) 1) 布の曲げ特性, せん断特性, 引張特性の測定

2) 布の圧縮特性, 表面特性の測定

3) 布の熱・水分移動特性 (最大熱流束 q_{max} , 熱コンダクタンス, 熱損失) の測定

1 班を 3 つに分けて, ローテーションで実習を行います。

..... カトーテック(株)ならびに井上真理

必要な方は実習後に質疑等お受けします。

協 賛 大阪染色協会

定 員 第 1 班, 第 2 班それぞれ 15 名 (計 30 名) (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ実習：KES による布特性の測定講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤第 1 班, 第 2 班希望順位 (申込状況により第 1 希望に添えない場合がございますので, あらかじめご了承ください) を記入の上, FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

合織の基礎と最新の技術

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、染色加工および特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。

これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。

講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにし、質問にも答える時間を設けていますので、この機会に多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 28 年 12 月 6 日(火)、7 日(水) 10.00~17.10

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

内 容

第 1 日目【12 月 6 日(火)】

- (1) 化合織概論 (10.00~12.00) 山崎技術士事務所 代表 山崎 義一
 一 種々の化学繊維の概要を説明し、その技術史ならびに産業論を含めて解説します。
- (2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質 (13.00~15.00)
 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次
 一 3 大合織とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。
- (3) 合成繊維の繊維化プロセス、構造と物性の関係 (15.10~17.10)
 龍谷大学 REC、P&P リサーチ代表、日本繊維機械学会フェロー 石原 英昭
 一 紡糸工学の概要を説明し、特に熔融紡糸、乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性などと関連づけて解説します。

第 2 日目【12 月 7 日(水)】

- (4) 合成繊維の高次加工—染色加工 (10.00~12.00)
 元帝人、日本繊維技術士センター執行役員 嶋田幸二郎
 一 合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や機能性付与技術について、原糸開発との関連において、その基礎知識と最近の技術動向を解説します。
- (5) 合成繊維の高次加工—糸加工、製布 (13.00~15.00) ... 日本繊維技術士センター 評議員 藤田 隆嘉
 一 合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について解説します。
- (6) スーパー繊維とその用途展開 (15.10~17.10)
 東洋紡(株) 機能材開発研究所 総合研究所 研究企画管理室 部長 寺本 喜彦
 一 近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

協 賛 大阪染色協会、日本化学繊維協会

定 員 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員 25,000 円、非会員 33,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ合織の基礎と最新の技術」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

繊維製品の品質管理と品質保証

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について繊維評価技術協議会から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 29 年 3 月 3 日(金) 10.00~18.20

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容

- (1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明 (10.00~11.10)
 (一財)ニッセンケン品質評価センター 東京事業所 研究開発課 課長 木内 智
- (2) 機能性試験の内容と評価基準 (11.15~12.25)
 (一社)繊維評価技術協議会 大阪支所参事, 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製品クレームの事象と対策例 (13.15~14.25)
 (一財)ボーケン品質評価機構 大阪業務部 兼 大阪事業所 試験課 課長 平岩 清隆
- (4) 溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について (14.30~15.30)
 TMT ソリューションズ(株) 参与 中田 賢一
- (5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響 (15.30~16.30)
 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守
- (6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (16.40~17.30)
 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹
- (7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (17.30~18.20)
 あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中 利幸

協 賛 大阪染色協会

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申 込 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第 44 回繊維工学研究討論会 2016 (ニューデリーにおける国際シンポジウム) The 44th Textile Research Symposium

今年の第 44 回繊維工学研究討論会は、インドのニューデリー市にある、Indian Institute of Technology Delhi (インド工科大学) に於いて開催します。繊維工学に関する発表(口頭またはポスター)を募集しておりますので、積極的なご参加、研究発表をお待ちしています。

- 期 日** 平成 28 年 12 月 13 日(火) 集合, 移動
 12 月 14 日(水) 登録, 繊維工学研究討論会 1 日目
 12 月 15 日(木) 繊維工学研究討論会 2 日目
 12 月 16 日(金) 繊維工学研究討論会 3 日目
 12 月 17 日(土) 国際交流
 12 月 18 日(日) 移動, 解散

会 場 繊維工学研究討論会の会場: Indian Institute of Technology Delhi (インド工科大学)
 Hauz Khas, New Delhi 110016, India (<http://www.iitd.ac.in/>)

参加費 一般参加者 400 US \$, 学生参加者 200 US \$ (支払いは会場受付)
 参加費の中には、ローカルな交通費(空港ホテル間の送迎, ホテル会場間の毎日の行き来), 3 日間のティー/コーヒー, ランチ/ディナーの費用, 会議(本または CD), バッグの費用, 市内のエクスカージョンの費用が含まれています。

発表申込 URL: www.44trsiitd.com より申込み下さい。
 発表申込・アブストラクトの締切: 平成 28 年 7 月 31 日(日)
 フルペーパーの締切: 平成 28 年 10 月 15 日(土)

参加申込 平成 28 年 11 月 30 日までに事前登録をお願いします。

オーガナイザー

インド側: Dr. B.K Behera, Department of Textile Technology, Indian Institute of Technology, Delhi, Hauz Khas, New Delhi 110016, E-mail: bijoy.behera@yahoo.com
 Tel. 91-11-26592424, Fax. 91-11-26562503

日本側: 米田 守宏 (奈良女子大学 生活環境学部) 〒 630-8506 奈良市北魚屋西町
 E-mail: yoneda@cc.nara-wu.ac.jp, Tel&Fax: 0742-20-3463

旅行代金 234,000 円 (SINGLE), 193,000 円 (TWIN) (宿泊費, 航空券を含む。只今の予定です。)
 宿泊ホテル: Hilton Garden Inn New Delhi: 四つ星ホテル
 フライトについて(現況の予定であり, 変更になる可能性があります。JL = 日本航空利用)
 12 月 13 日(火) JL-3002 便伊丹 (8.00) - 成田 (9.20), JL-749 便成田 (11.35) - デリー (18.20)
 12 月 18 日(日) JL-740 便デリー (20.20) - 成田 (12 月 19 日 7.10), JL-113 便羽田 (10.30) - 伊丹 (11.40)

ビザについて インド訪問にはビザが必要です。ビザ取得申込みも可能です。ビザ取得費用 9,100 円

申込方法 学会 HP より参加申込み用紙をダウンロード頂き, 以下宛先までお申し込み下さい。

申込み先 旅行企画・実施 (株)ジェイワールドトラベル 担当: 橋本 賢次
 〒 541-0052 大阪市中央区安土町 3-4-10 京阪神安土町ビル 3 F
 TEL. 06-6266-2229, FAX. 06-6266-3447 (観光庁長官登録旅行業 第 1359 号)
 E-mail: hashimoto@jw-trvl.co.jp

問合せ先 日本繊維機械学会 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp
 ジェイワールドトラベル 担当: 橋本 TEL. 06-6266-2229, E-mail: hashimoto@jw-trvl.co.jp

第 45 回繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) 2017

期 日 平成 29 年 9 月 14 日(木)~16 日(土)

会 場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館 (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1)

東海支部 材料表面改質トライアルコア講演会

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターでは、下記の要領にて講演会を開催します。
多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 平成28年12月2日(金) 13.30~15.00

会 場 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター 3号館4階 研修室

内 容 感覚計測技術による商品開発手法および事例紹介

…………… 東洋紡(株)総合研究所 コーポレート研究所 快適性工学センター 部長 石丸 園子
あいまいな感覚を機器による数値化,あるいは,数値計算により予測する感覚計測技術の開発に取り組んでいます。これまでに発汗マネキンによるむれ感の数値化,数値解析手法による衣服圧のシミュレーションなどに取り組んできました。これらの感覚計測技術の概要と,その技術を活用した商品開発事例について紹介します。

参加費 無料

申 込 「トライアルコア講演会」と明記し,①氏名,②所属,③連絡先(所在地,電話番号)を記入の上,E-mailにて下記宛お申し込み下さい。

申込先 E-mail: owari-kikaku@aichi-inst.jp

〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字宮浦35 TEL 0586-45-7871

平成29年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

平成29年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので,下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は,本学会の会員であり,Original Paperを多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは,JTE(Journal of Textile Engineering,本学会論文集)に掲載されたOriginal Paperが「5編以上」とします。また,「新進の研究者」とは,年齢が当該年の前年の12月31日で,40歳以下の者とします。

応募される方は,下記の書類を添えて,平成29年2月6日(月)必着にて,下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
 - (2) JTEに掲載された論文一覧(著者名全員,発行年,題目,巻号,初頁—終頁)
 - (3) 推薦書(自薦,他薦にかかわらず400字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4,大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

平成 29 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」募集

平成 29 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を平成 29 年 1 月 16 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付して下さい。

提出書類 次の書類を 2 部 (正 1 部, 副 1 部, 副は複写も可) 提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙 (所定の書式の用紙。学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい)
- (2) 応募業績に関する参考資料 (参考資料例: 特許, 図面, 新聞記事, 納入実績リスト, カタログ, 技術資料など)

選考方法

- (1) 一次選考 (書類審査) により選抜された業績について、二次選考 (現地調査) を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他

応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切

平成 29 年 1 月 16 日(月) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先

日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

参考資料

過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 26 年度受賞技術

「バット染料による綿ニット染色用液流染色機の開発」

..... (株)日阪製作所 清水 徹, 五反田一志, 白石 健二
(株)ワコウナレッジ 若生 寛志
福井大学 中根 幸治

「製織・縫製同時生産システムを目指したスワイベル織装置の開発」

..... (株)片山商店 小紫 和彦, 片山 象三
兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 古谷 稔, 東山 幸央
サイエンティフィックテクノロジーズ(有) 村尾 良男
神戸大学 井上 真理

・平成 27 年度受賞技術

「高耐摩耗多重構造織物設計」..... 東レ(株) 主森 敬一, 二ノ宮有希, 土倉 弘至

「機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム」

..... 村田機械(株) 林 茂, 野間 英治, 西山 能弘
「生体を模擬した中わた素材の開発」..... 倉敷紡績(株) 小沢 一郎, 大西 浩一
タイ・クラブウ(株) 山内 一平
イシケン(株) 石川 和延

・平成 28 年度受賞技術

「高性能 CFRP ソールの成形技術」

..... (株)アシックス 谷口 憲彦
川重岐阜エンジニアリング(株) 日比野 茂
(株)アシックス 松尾 弘毅, 西脇 剛史

「競泳水着における機能性設計開発」

..... (株)ミズノ 田中 啓之, 島名 孝次

平成 29 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、平成 28 年 2 月 28 日(火)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

日本繊維機械学会フェロー規程

目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

フェローの返上

第 9 条 フェローとしての任務が不可能となった場合は、本人の申し出によりフェローの称号を返上することができる。

附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。

日本繊維機械学会フェロー内規

1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名(理事)

副委員長 1名(理事)

委員 3名(委員長指名による会員)

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

平成29年度日本繊維機械学会賞「論文賞」 推薦委員募集

平成29年度日本繊維機械学会賞「論文賞」の推薦委員募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

申 込 応募される方は、①氏名、②所属、③所在地、④連絡先(電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、⑤専門分野を明記の上、平成29年1月23日(月)までに、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。

申込先 日本繊維機械学会論文賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

協賛行事 京都工芸繊維大学 繊維科学センター 「第6回大阪地区講演会」

期 日 平成28年11月7日(月) 13.00~17.25

会 場 綿業会館 新館7階大会場 (大阪市中央区備後町2-5-8)

内 容 「日本のものづくり-新たな展望は総力戦で」

開会挨拶 (13.00~13.05) 京都工芸繊維大学 副学長 森本 一成

繊維科学センターの活動と現状 (13.05~13.15)

..... 京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 浦川 宏

京都工芸繊維大学の研究紹介 (13.15~14.15)

「無水染色加工とその現状」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授 奥林 里子

「バイオベースマテリアルを用いた染色」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授 安永 秀計

「やわらかさの定量評価とテクノロジー展開」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学 系教授 佐久間 淳

「布の光沢と高級感印象の関連性」

..... 京都工芸繊維大学 グローバルエクセレンス 助教 近藤 あき

休憩 (14.15~14.30)

「高島屋の今後」(14.30~15.20)

..... 株式会社高島屋 常務取締役MD本部長 亀岡 恒方

「ものづくりのイノベーション」(15.20~16.10)

..... 株式会社島精機製作所 代表取締役社長 島 正博

休憩 (16.10~16.20)

パネルディスカッション (16.20~17.20)

..... パネリスト：株式会社島精機製作所 代表取締役社長 島 正博

..... 株式会社高島屋 常務取締役MD本部長 亀岡 恒方

..... 京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 浦川 宏

..... コーディネーター：京都工芸繊維大学 繊維科学センターシニア・フェロー 松下 義弘

閉会の挨拶 (17.20~17.25)

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 鋤柄佐千子

意見交換会 (17.40~, 綿業会館1階パーティー会場) 挨拶：京都工芸繊維大学 学長 古山 正雄

定 員 150名

参加費 無料, 意見交換会 3,000円

協 賛 繊維学会関西支部, 繊維・未来塾 (日本繊維機械学会所属), テキスタイル倶楽部, 日本繊維製品消費科学会, 日本繊維技術士センター, 関西ファッション連合, 京都市産業技術研究所

申 込 WEB, または FAX・E-mailにて申込み下さい。

申込先 京都工芸繊維大学 繊維科学センター (京都市左京区松ヶ崎橋上町1)

電話：075-724-7701, FAX：075-724-7705, E-mail：fiber@kit.ac.jp

参加申込アドレス：http://research.jim.kit.ac.jp/nc/html/htdocs/?page_id=85

繊維科学センターホームページ [<http://www.cfts.kit.ac.jp/>] からのご案内しています。

協賛行事 第24回秋季大会

- 期 日** 平成 28 年 10 月 26 日(水), 27 日(木)
- 会 場** 仙台国際センター (仙台市青葉区青葉山無番地)
- 主 催** プラスチック成形加工学会
- テ ー マ** モノづくりと人(もの)づくり, 成形加工の伊達な未来
- その他** 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい.

協賛行事 第155回講演会 超精密成形加工の最新技術動向

- 日 時** 平成 28 年 11 月 2 日(水)
- 会 場** タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4-1-1)
- 主 催** プラスチック成形加工学会
- テ ー マ** 超精密成形加工の最新技術動向
- その他** 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい.

協賛行事 第64回レオロジー討論会

- 日 時** 平成 28 年 11 月 28 日(月)~30 日(水)
- 会 場** 岡山国際交流センター (岡山県岡山市奉還町 2-2-1)
- 主 催** 日本熱物性学会
- その他** 詳細は日本熱物性学会 HP (<http://www.netsubussej.jp/>) をご参照下さい.

平成 29 年度 (公財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集

スポーツ関連科学に関する学術の研究を奨励・援助し、健全な体育・スポーツの振興・発展に寄与するため、平成 29 年度スポーツ科学学術研究公募を下記の要領にて実施いたします。多数ご応募頂きますようお願い申し上げます。

主 催 (公財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団

応募資格 ①体育学, 健康科学, 人間工学, 被服科学, 運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術, およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学, およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ。

②高校生から幼児までの教育機関に奉職しており, ①に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ。

この場合, 運動生理学的研究でなくとも, あくまで教育現場に於ける身近なテーマで, すぐにも役立つ研究テーマを求めている。

但し, 研究報告等に不慣れな人は, 報告書作成に習熟した人を共同研究者に加えて申請のこと。

学術研究テーマ 自由課題学術研究

本財団の主旨に添ったものであり, 申請者がこれまで行って来た研究を助成することによって, 調査・研究の発展・充実が期待されるものであること。

応募締切 平成 28 年 11 月 9 日

応募方法 応募者は, 所定の申請用紙に研究テーマ, 目的, 内容および期待される成果等を簡潔に書き, 平成 28 年 11 月 9 日(当日消印有効)までに書面にて提出すること。

その他 詳細は石本記念デサントスポーツ科学振興財団 HP (<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>) をご参照下さい。

FMC 11 月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の11月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ (http://www.geocities.jp/fmc_webpage/) をご参照下さい。

日時 平成 28 年 11 月 4 日(金) 18.15~20.00

会場 大阪産業創造館 5F 会議室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)

内容 2017 年春夏ニューヨークコレクションの徹底分析と進展するアクティブウエア市場を検証

ニューヨークコレクションの注目トレンドと商品開発の為のキーポイントなど、最新情報をスライド写真で解説します。ビジネステーマでは、注目のスポーツウエアブランドとファッションブランド、スポーツ選手とのコラボレーションで進化するアスレチックウエア、また女性を中心に運動だけでなく普段着やオフィスウエアへと波及する「アスレジャー（運動+余暇の造語）」ファッションを検証します。さらに、話題のメトロポリタン美術館の衣装展「Manus x Machina：手仕事×機械：テクノロジー時代におけるファッション」のオートクチュールと 3D プリントを駆使した展示作品をスライド写真とカタログで解説します。

講師 ニューヨーク在住ファッション・ジャーナリスト 磯野 信江

参加費 ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー（10 月は見学会）に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます。]

申込 「FMC 11 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、10 月 28 日(金) までに E-mail にて下記宛てお申し込み下さい。

申込先 大阪樟蔭女子大学 被服学科内 FMC 事務局

E-mail: fmc.office.mail@gmail.com

協賛行事 61st FRP CON-EX2016

日時 平成 28 年 11 月 24 日(木)、25 日(金)

会場 広島県情報プラザ (広島市中央区千田町 37-47)

主催 強化プラスチック協会

内容 FRP 業界の活性化を狙い、FRP の過去を顧み、将来を見据えた総合講演会・参考展示会。

その他 詳細は強化プラスチック協会 HP (<http://www.jrps.or.jp/>) をご参照下さい。

学会誌編集委員会

委員長 勝圓 進 (倉敷紡績)

副委員長 岡本 陽子 (神戸女子大学)

編集委員 一田 昌利 (京都工芸繊維大学) 乾 明子 (カケンテストセンター) 大萩 成男 (和歌山県工業技術センター)

岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター) 勝 眞理 (アシックス) 迫部 唯行 (ユニチカ)

澤田 淳 (TMT マシナリー) 鈴木 芳史 (帝人) 高橋 朋子 (旭化成)

中川 隆 (村田機械) 峯村 慎一 (東洋紡) 村井 大輔 (消費科学研究所)

宮城教育大学 教員の公募について

1. 講座等名：教育学部家庭科教育講座
2. 職名及び人員：准教授または講師 1名
3. 専門分野：被服材料学（高分子化学）、被服整理学（洗浄、染色）
4. 教育上の担当
 - (1) 担当授業科目
学部：被服の材料、生活と被服、生活と健康、材料加工、家庭科実験、家庭科演習、家庭（小学校の教科専門科目）、卒業研究、その他教養教育科目等を担当することもある。
大学院：繊維材料学特論、材料科学特論、被服学特別実験・実習、学校実践研究、特別研究、被服学特講、修士論文指導
 - (2) その他
附属学校園および地域との連携活動等
5. 応募期限：平成 28 年 10 月 31 日 必着
6. 採用予定日：平成 29 年 4 月 1 日
7. 応募条件：次の各号を満たしている者
 - (1) 博士の学位を有する者（またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者）
 - (2) 大学院修士課程を担当できる者
 - (3) 仙台市もしくはその近郊に居住できる者
8. 応募書類
 - (1) 自筆の履歴書（市販のもの、写真貼付）
 - (2) 業績リスト一覧（研究業績に加え教育・職務上の業績を記述すること）
 - (3) 研究論文・著書の別刷り（コピー可）
 - (4) 研究の概要とこれからの研究計画（A4 版 2000 字程度）
 - (5) 赴任後の学生教育に対する抱負（A4 版 2000 字程度）
9. その他
 - (1) 面接を行う場合があります。その際の旅費等をご負担ください。
 - (2) 応募書類は返却いたしません。
 - (3) 給与及びその他諸条件については、本学の規定により処遇します。
 - (4) 本学の概要はホームページ（<http://www.miyakyo-u.ac.jp/>）でご覧になれます。
 - (5) 宮城教育大学は「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。業績や能力に関わる評価が同等と認められる場合には、女性を優先して採用します。
10. 応募書類提出先 〒 980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地
宮城教育大学総括主幹・人事専門職（電話：022-214-3307）
（封筒に「被服学教員応募書類在中」と朱書き、簡易書留にて郵送のこと）
11. お問い合わせ先
国立大学法人宮城教育大学教育学部家庭科教育講座 教授 西川 重和
電話：022-214-3481、E mail：nishika@staff.miyakyo-u.ac.jp

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平（椋山女学園大学）		
運営委員	伊藤 博（イトー・ピー・イー・オフィス）	今田 邦彦（今田技術士事務所）	上野 清隆（日阪製作所）
	越智 清一（繊維評価技術協議会）	改森 道信（改森技術士事務所）	金崎 英夫（金崎技術士事務所）
	嶋田幸二郎（嶋田技術士事務所）	長澤 則夫（日本羊毛産業協会）	橋本 嘉顯（東洋紡リビングサービス）
	森本 國宏（森本技術士事務所）	吉川 雅敏（東洋紡）	

海外繊維技術文献集 Vol. 66, No. 5 (2016-9) 内容目次

全訳

- ・モロッコの Alfa 繊維のナノセルロースで強化したバイオナノコンポジットフィルムの調製と特性

抄録

- ・メルトブローンで製造したポリプロピレンナノ繊維の構造及び機械特性
- ・綿の表面に見られる植物と昆虫の炭水化物異性体の分離と定量化
- ・リサイクルポリエチレンテレフタレート／多分岐ポリエステルコンポジット繊維の特性
- ・ステンレススチールコンポジット布の電磁シールド効力と数学モデル
- ・マルチスケールウェーブレット変換とガウス混合モデルに基づく布欠点の検出
- ・足部白癬療法のためのキトサン／クロトリマゾールマイクロカプセル：in vitro 抗真菌性と細胞毒性の研究
- ・綿／ナイロンと高性能ケルメル繊維混紡織物の熱的快適性に及ぼす混紡比の影響
- ・綿 100% 編地の紫外線防護特性の研究：編み構造の影響
- ・各種繊維による添え糸編構造の水管理特性
- ・顔料中のポリ塩化ビフェニル：意図しない生産と環境的意義
- ・古代多彩装飾におけるアルメニアコチニール (Porphyrphora hamelii) とブルプリンの多いアカネ
- ・スパーサー布とプラズマ処理がスパーサー布の機能性に及ぼす影響
- ・繊維表面を永久改質するための工業用真空プラズマ技術
- ・ナイロン 66 とポリエステル生地帯電防止性能を向上させる大気圧プラズマ処理
- ・柔軟剤がポリエステル／綿混紡織物の物理的性質に及ぼす影響
- ・CMR (注) 化合物を含有しないノンフロンの耐久撥水剤
- ・テキスタイル、人工皮革、皮革のはっ水、はっ油、防汚処理
- ・ナノ酸化チタンで加工した綿布のセルフクリーニング性に及ぼすコロナ処理の研究
- ・分散染料によるポリウレタンナノ繊維の染色性
- ・CI Sulphur Black 1 による染色時の硫化ナトリウムの代わりに環境に優しい還元剤の使用
- ・2-フェノキシエタノールで処理したアラミドの構造と染色性
- ・タンパク質繊維の染色のための診断型エキスパートシステム
- ・新しい再生セルロース、レーヨン、綿繊維のキャラクタリゼーションとその織物の染色性
- ・リング糸とコンパクト糸の織物をマーセル化処理した後の X 線分光法アナターゼ型酸化チタンを充填したポリ乳酸メンブランフィルム：調製、キャラクタリゼーション、抗菌活性の評価
- ・温度検出布による体温の測定
- ・湿摩擦堅ろう度の標準的評価法の改善
- ・持続可能性のあるファッション製品の持続可能性およびブランド名の
- ・効果と購入意思に対するコース・リレーテッド・マーケティング
- ・ゾルゲル法による酸化亜鉛ゾル含有ジアリルメチルアルキル第四級アンモニウム塩の合成：キャラクタリゼーションと特性
- ・有限混合モデルによる繊維長パラメータから綿繊維長確率密度関数の生成
- ・NaOH/尿素水溶液系からエレクトロスプレーを経た天然セルロース微粒子の製作
- ・マイクロ流体プロセスによる単分散カルボキシメチルセルロースマイクロ粒子のサイズ制御
- ・水性懸濁液中でのセルロースナノウィスカーのゲル化
- ・文化財の防護および修復のための微結晶セルロースに基づくコンポジットの機械的応答に及ぼす水分収着の効果

購読を希望の方は日本繊維機械学会事務局までご連絡下さい。